

理由書

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、“さんごの島”の意味を持つ「うるま」の名の通り、美しい海、島しょの自然、世界遺産の勝連城跡に代表される歴史文化遺産など、多彩で美しい景観を有しています。

本市の景観づくりについては、うるま市総合計画基本計画にて勝連城跡周辺の歴史公園の整備にあわせて歴史的・文化的な景観づくりを進めるとしており、また、うるま市都市計画マスタープランでは、地域固有の自然、歴史や伝統文化、人々の暮らしによって生み出される多彩で美しい景観を本市の貴重な資源として認識するとともに、共有し、住民や事業者、行政の協働により、守り、創り、育て、活かす取り組みを推進するとしています。

そして、多彩で美しいうるまの景観を保全・創出し、将来にわたり「住んでよし、訪れてよし」の美しい景観づくりに取り組むため、「うるま市景観計画」を策定し景観施策が進められています。

本地区は、世界遺産である勝連城跡を中心とするエリアであり、うるま市景観計画において、本市を代表する優れた景観を有し、その優れた景観が観光などの資源として地域振興に寄与する可能性が高いと見込まれる「重点地区」の候補として位置づけられています。

勝連城跡からは平安座島などの島々や、海・緑に囲まれた優れた眺望、自然景観が広がり、訪れる人々の心を魅了しており、市を代表する観光地としての魅力を高めるとともに、景勝地の周辺にふさわしい街並みづくりが強く求められています。

以上のことから、全市の景観づくりに先駆けて景観誘導を進め、世界遺産である勝連城跡周辺としてふさわしい街並み形成を図るため、景観地区の決定を行うものです。